

## 第13回陸側遮水壁タスクフォース議事概要

日時：平成26年10月22日（水）14：00～16：00

場所：経済産業省別館11階1111共用会議室

出席者：大西主査、赤川委員、伊藤委員、藤田委員、丸井委員、西垣委員、鎌田委員、  
東京電力、鹿島建設、  
糟谷対策監、土井審議官、吉田審議官、新川室長、江口対策官、豊口企画官、  
水野調整官、菅野補佐

議事概要：

議題1. 大規模実証事業の進捗について鹿島建設より説明。【資料1】

議題2. 凍土壁の閉合手順について鹿島建設より説明。

【資料2】、【参考資料2-1】

<主なコメント>

- 補助工法として薬液注入をする場合、規制庁の認可は必要となるのか。  
→認可の要否は、その行為によって周辺環境に悪影響を及ぼさないかがポイントになる。薬液注入については周辺環境に悪影響を及ぼさないよう実施できると判断している。
- 熱-水練成解析等、解析の妥当性を検証する上で、インプット情報となる透水係数、地盤物性値等が解析結果に与える影響については評価しているのか。また、評価結果については、施工時のトラブル対応等も含め報告してほしい。  
→現在検討中であり、次回以降に検討結果を報告したい。
- 凍土壁の閉合手順の基本方針として、山側を先行して凍結することについては了承。

議題3. 制御運転に関する検討について鹿島建設より説明。

【資料3】

<主なコメント>

- 地下LNG貯蔵等の経験から、間欠運転の際の「停止」及び「稼働」期間は長く設定するほうが良い。  
→具体的な期間を設定する際の参考にさせて頂く。
- 今回の提案の方法それぞれで、エネルギー効率を算出して比較するのはどうか。  
→検討する。

以上